

# 流域治水プロジェクトの策定について

## 策定における考え方

### プロジェクト目標

国管理区間においては、戦後最大流量への対応を目標としており、荒川流域においては、羽越水害規模の洪水へ対応する。

### プロジェクト期間

概ね10年程度を計画期間とする。

### 記載事業(中間とりまとめに記載予定)

公表済みの素案をベースに以下の情報を追加

#### ・河川における対策

県の実施内容を追加し、水系の対策内容として記載

(国記載:河川整備計画のR2年度以降の残事業メニューを記載)

記載事業の事業費の集計(R2以降の残事業費)

#### ・流域における対策

実施予定の対策を記載(対策事例は別添のとおり)

実現困難なものは記載しない。

最終とりまとめで削除とならないように。

(事務局案は素案と同じ記載内容)

#### ・ソフト対策

減災協議会の取組方針から代表的なものを抜粋

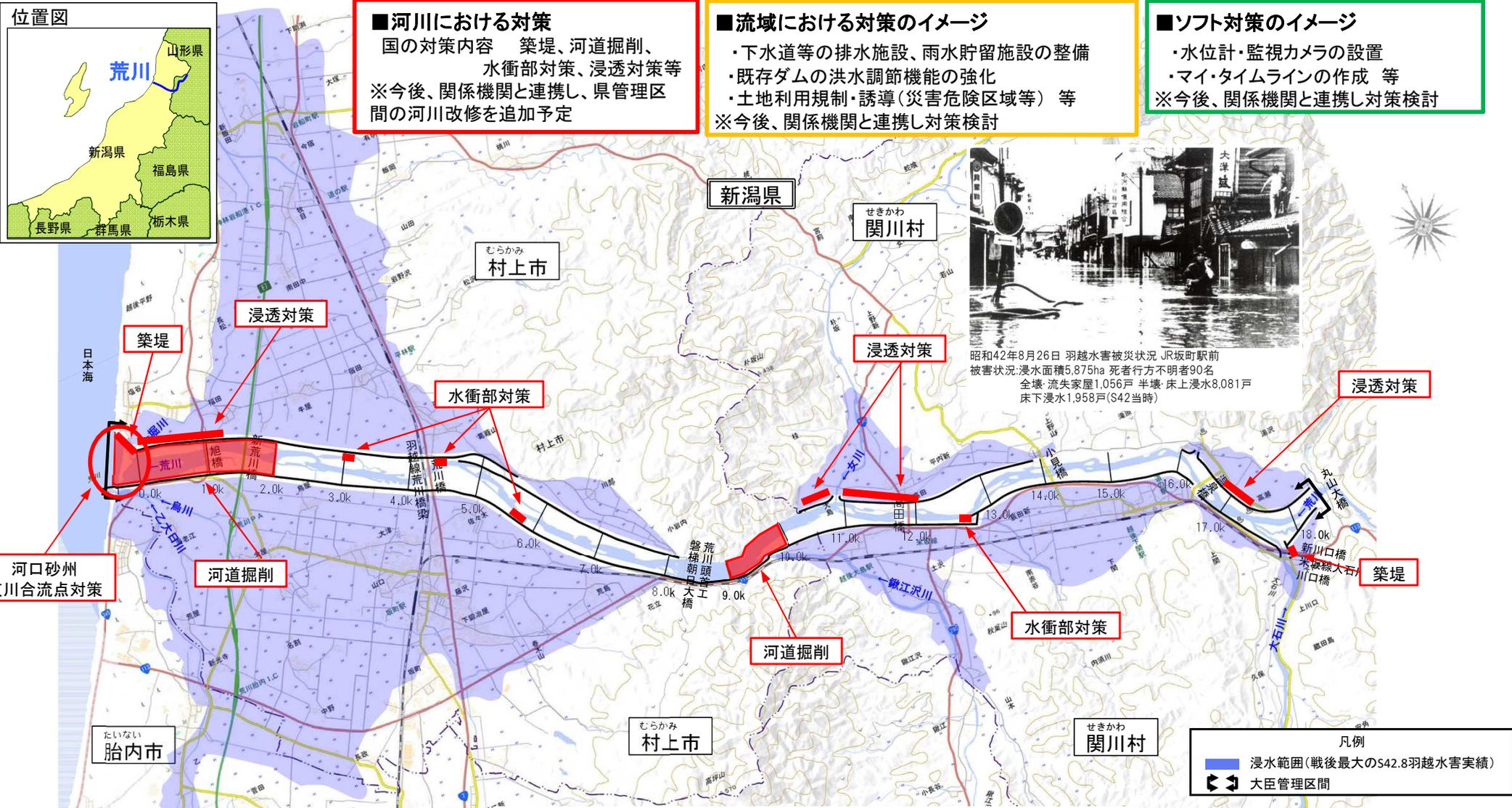
(事務局案として積極的な事例を抽出)

協議会で協議して  
記載事業を選定

# 荒川水系流域治水プロジェクト【素案】

～羽越水害の経験に学び、より水害に強いまちづくりの推進～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の昭和42年羽越水害と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

# 川水系 川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ(案)】

中間とりまとめ  
(案)協議会用

～ゼロメートル地帯の壊滅的な被害を防止・軽減するための堤防強化対策～

令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、川流域においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、**国管理区間においては、戦後最大の昭和58年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。**



管内図に書き込めない区間の県管理河川があれば、欄外に記載するか別紙(流域図等)に記載する。(詳細は分割版も可とする。)

中流  
圏域河川整備



各県の実施内容を含めた水系の対策内容をまとめる

**河川における対策**  
対策内容 堤防整備、堤防強化、地震津波対策、水門・樋管整備等  
新丸山ダム建設事業

県が対策を実施する河川から代表的なものを記載  
整備計画が策定済みのみ

**県管理河川(一級河川指定区間)**  
可児川、千旦林川、飛騨川、郷瀬川、鍋田川 等

**流域における対策**  
排水作業準備計画の作成  
排水機場等の整備、耐水化の取り組み  
河川防災ステーション及び防災拠点、防  
広域防災ネットワークの構築  
工事残土等を活用した高台等の応急的な避難場所の確保  
二線堤、輪中堤の機能維持、活用 等  
今後、関係機関と連携し対策検討

流域としてウリにしていこうとしている一押しの対策があれば上位に記載  
(実現困難なものは書かない。最終とりまとめで削除とならないように注意)

**ソフト対策**  
水害リスクの高い区間の監視体制の整備  
公共交通事業者やマスメディア等と連携した情報伝達の充実  
堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施  
国・県・市が連携した水防訓練の取り組み  
要配慮者利用施設管理者等の避難計画の作成、訓練の実施の促進  
国・県・市が連携したタイムラインの運用  
国・県による洪水ハザードマップの作成  
危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ  
洪水予測等のプッシュ型情報提供  
住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動  
木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトの活用及び運用 等  
今後、関係機関と連携し対策検討

減災協議会の取組方針の内容から代表的なものを抜粋  
流域としてウリにしていこうとしている一押しの対策があれば、上位に記載



美濃加茂市内 被災状況

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 川水系 川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】

～ゼロメートル地帯の壊滅的な被害を防止・軽減するための堤防強化対策～

9月末

公表用

令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、木曽川流域においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、**国管理区間においては、戦後最大の昭和58年9月洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。**

位置図



管内図に書き込めない区間の県管理河川があれば、欄外に記載するか別紙（流域図等）に記載する。（詳細は分割版も可とする。）

中流  
圏域河川整備

樹木伐開



各県の残事業費、実施内容を含めた水系の全体事業費をまとめる

### 河川における対策

全体事業費 約 億円

対策内容 堤防整備、堤防強化、地震津波対策、水門・樋管整備 等  
新丸山ダム建設事業

県が対策を実施する河川から代表的なものを記載

整備計画が策定済みのみ

### 県管理河川（一級河川指定区間）

可児川、千旦林川、飛騨川、郷瀬川、鍋田川 等

三重県

愛知県

川圏域  
河川整備

### 流域における対策

- 排水作業準備計画の作成
- 排水機場等の整備、耐水化の取り組み
- 河川防災ステーション及び防災拠点、防
- 広域防災ネットワークの構築
- 工事残土等を活用した高台等の応急的な避難場所の確保
- 二線堤、輪中堤の機能維持、活用 等
- 今後、関係機関と連携し対策検討

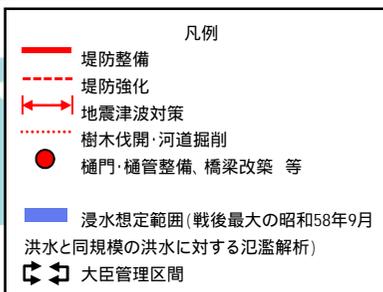
流域としてウリにしていこうとしている一押しの対策があれば上位に記載

実現困難なものは書かない。最終とりまとめて削除とならないように注意



美濃加茂市内 被災状況

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



### ソフト対策

- 水害リスクの高い区間の監視体制の整備
- 公共交通事業者やマスメディア等と連携した情報伝達の充実
- 堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施
- 国・県・市が連携した水防訓練の取り組み
- 要配慮者利用施設管理者等の避難計画の作成、訓練の実施の促進
- 国・県・市が連携したタイムラインの運用
- 国・県による洪水ハザードマップの作成
- 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラ
- 洪水予測等のプッシュ型情報提供
- 住民・教育機関等への防災・減災知識の普及啓発活動
- 木曽三川下流部広域避難実現プロジェクトの活用及び運用 等
- 今後、関係機関と連携し対策検討

減災協議会の取組方針の内容から代表的なものを抜粋

流域としてウリにしていこうとしている一押しの対策があれば、上位に記載